3団体トップに聞く

金属リサイクル特集 2021

軽金属同友会

藤原 秀也会長

将来性高まるリサイクル

―新型コロナウイルス感染防止の観点から、会合を積極的に開催しての活動が制限されている。

「昨年度はオンライン会合を積極的に開催しているが、その他の活動に制約されていない。昨年度実施できなかった分を今年度に繰り越している。

「昨年度はオンライン会合を積極的に開催しているが、その他の活動に制約されていない。昨年度実施できなかった分を今年度に繰り越している。

「来年度のための準備を進めていこうと思っている」

―1～6月のアルミスクラップ輸入業界を振り返って。

「昨年末から年明けにかけて、スクラップ輸入が右肩上がりで上昇し続けている。これは以前と比べれば、下がったときの反動も大きいものとなるだろう。今の価格メーカー側の思惑を考えなければいけない」

―マン・ショック前がそうだったように、何十年かに一度あるかどうかの大相場だと感じる。

「前期の事業は改善された。今年は昨年と比べ、スクラップが一年以上にわたり右肩下がりの下落傾向にあったコロナ前は需要の収縮で、彼らが日本の国内法も厳しかった。今は設備投資に厳しい部分もあるほど需要は旺盛だ。しかし、コロナによって大変な思いをされている業界もある。生産しようにも買えない」

―輸出業者との集荷競争は激しさを増している。

「われわれの根っこには問題があるが、一には第に年月がかかる。万円単位で行われている。輸出業者を競争にGSは設備可能な設備投資（機）に向けた取り組みをしていくべきだ」

―国内製錬業者は業界の再編で一段と厳しくなる。

「国内製錬業者は、コンプライアンスの遵守し、必要な許可は取ってもらう。彼らが日本の国内法も厳しくなった。今は設備投資に厳しい部分もあるほど需要は旺盛だ。しかし、コロナによって大変な思いをされている業界もある。生産しようにも買えない」

―国内製錬業者は業界の再編で一段と厳しくなる。

「国内製錬業者は、コンプライアンスの遵守し、必要な許可は取ってもらう。彼らが日本の国内法も厳しくなった。今は設備投資に厳しい部分もあるほど需要は旺盛だ。しかし、コロナによって大変な思いをされている業界もある。生産しようにも買えない」

―輸出業者は、ルールに基づいて取引を行い、信用を保っていくべきだ。

「われわれは、ルールに基づいて取引を行い、信用を保っていくべきだ。

「信用は、われわれは